

学校運営協議会 議事録

|     |               |
|-----|---------------|
| 学校名 | 大阪府立大阪南視覚支援学校 |
| 校長名 | 郡司 弘子         |

|         |   |
|---------|---|
| 開催日時    | 令和3年11月11日(木) 14:00 ~ 16:00   |
| 開催場所    | 大阪府立大阪南視覚支援学校 会議室   |
| 出席者(委員) | 委員長、委員4名 (欠席1名)   |
| 出席者(学校) | 校長、教頭2名、事務部長、課長補佐、首席3名、部主事4名、教務部長1名   |
| 傍聴者     | なし  |
| 資料      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員・事務局員名簿 (資料1)</li> <li>・ 令和3年度学校経営計画及び学校評価について (資料2)</li> <li>・ 授業見学について (資料3)</li> <li>・ 学級編制について (資料4)</li> <li>・ 学校運営協議会 議事録 (資料5)</li> </ul> |
| 備考      |   |

|  |
|--|
| 議題等(次第順)   |
| <p>【協議】</p> <p>(1) 授業見学について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 令和3年度 就学相談や学校見学会の状況等について(教務部長)</p> <p>(2) 学校行事、各学部の概況について(各部主事)</p> <p>(3) 令和3年度学校経営計画及び学校評価の取組み状況について(校長)</p>  |
| 協議内容・承認事項等(意見の概要)  |
| <p>【協議】</p> <p>(1) 授業見学について</p> <p>&lt;委員の感想および意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒や学生の障がいの程度や発達段階は様々で求められるスキルが多様であり、指導の難しさを感じた。</li> <li>・ 生徒や学生の障がいの程度が異なり、個々にニーズが異なることを感じた。中学部の生徒が点字を読むスピードがとてもはやく上手で驚いた。</li> <li>・ 視力障がいだけでなく様々な障がいを抱えている生徒もおり、先生方が様々な工夫をして対応していることが改めてわかった。以前、タブレットの活用が話題にのぼっていたと思うが、今日の授業では、科目の特性もあり、タブレットを活用した授業はなかったが、現状はどうでしょうか？</li> <li>・ 地域の小学校では球技をすることが全くできなかったが、球技をしている姿を見ることができて嬉しく思った。義肢装具学の授業では、意味があって形が違うのだなということがわかり勉強になった。</li> <li>・ 在籍者数が少なくなっているが、少ないからこそ個々の児童生徒の様々なニーズに対応したきめ細かい指導ができるのではないか。</li> </ul> |

## <タブレット端末の活用について>

### ●首席

10年前からタブレット端末を導入し、数も増え、いろいろな授業で使ってみましょうとなり、活用は5年前ぐらいが全盛期だったかと思う。現在は、教科書データがタブレット端末に入り、生徒が当たり前のよう使用しており、筆記用具のひとつのようになっている。紙による従来の教育方法も大切なので、ICTの活用と従来の教育方法の両方ともやっているのが現状。

## <中学部生徒の自立活動について>

### ●中学部主事

自立活動の様子を見ていただいた生徒は、自分の中に伝えたい気持ちがとても強くある。1学期は6点入力をすると音が鳴る器械を使ってコミュニケーションを覚えてきていたが、使い過ぎて器械が故障してしまい、今は、あいうえおボードを使用している。また、今後はブレールメモの6点入力のメモだけ残して扱いやすくして、それを習得していけたらと思う。本人は気持ちが伝わるととても喜んでいいる。

## <専修部の授業について>

### ●専修部主事

本校にはたくさんの装具の実物があり、理学療法科以外でも学生にたくさんの装具を触って体験してもらうことができる。専修部は教科書の電子化がまだ実現していない。理療科教員連盟では、音声での専門用語の読み上げ辞書3万語を無償でリリースしている。見えづらい学生にはタブレット端末の活用は大変有用。進行性の眼疾患で墨字も点字も難しい学生には、検索機能があるのでパソコンでのノートテイクを勧めている。

## 【報告】

(1) 令和3年度 就学相談や学校見学会の状況等について (教務部長)

### <幼児児童生徒学生数・学級数の見込み>

来年度の学級数は31で今年度と同じ見込み(中学部が1学級増え、高等部が1学級減る見込み)。

### <学校見学会および就学相談の状況>

学校見学会を11月4日(木)に行い16組が参加した。以下、各部主事から状況を説明した。

(2) 学校行事、各学部の概況について (各部主事)

### ●幼小学部主事

10月30日に文化祭があった。幼稚部が劇、小学部が音楽発表と劇の発表を行った。子どもたちにとって成長につながる良い機会だったと思う。11月9日に幼稚部でミカン狩りにいった。11月12日には、小学部で関西サイクルスポーツセンターに遠足の予定。12月には、小学部で伊勢志摩方面への修学旅行を予定。

### ●中学部主事

文化祭では1年生が和太鼓演奏、2・3年生が劇アラジンに取り組んだ。当日は、全ての生徒が練習の成果を発揮できたと思う。3年生が、11月17日から19日に淡路島方面に修学旅行の予定。1・2年生が18日から19日に宿泊学習で河内長野方面に宿泊学習の予定。

### ●高等部主事

7月に岡山に修学旅行に行き、シーカヤック・備前焼きの陶芸体験などができた。文化祭では1組が舞台を行い、自分たちで源氏物語の演目を選び台本を作成し、何度も試行錯誤して本番を迎えた。2、3組の舞台も、一人ひとりが歌いたい歌や演奏を保護者の方々の前で披露できて本当に良かったと思う。進路については、すでに卒業後に通う学校や施設が決まった生徒もいるが、これから受験に向けて頑張っている生徒もいるので、精一杯応援していければと思う。

●専修部主事

緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置により、校外からの患者を受け入れての臨床実習は半年間できなかった。かわりに、校内の職員や関係者に患者役をお願いして臨床実習を行ってきた。これまでの校外からの患者よりも比較的年齢が若く治療効果が確認しやすい患者を多く経験することになり、結果的に思った以上に学習効果があったのではないかと考えている。理学療法科の病院実習についても、あまり実施することができなかった。コロナ禍で、微熱や風邪症状などがあれば出席停止として扱われることもあり、学生のモチベーションを含め出席状況が振るわない部分が出てきている。12月に大阪市立大学で解剖標本見学実習を予定。

(3) 令和3年度学校経営計画及び学校評価の取組み状況について (校長)

●校長

おおむね計画どおりに進んでいる。今年度中に、国のGIGAスクール構想の関係で、支援学校の児童生徒にも1人1台のタブレット端末が配備されるので、今後、各支援学校でそれらの端末の効果的な活用に向けた取組みのアクションプラン作りを進めていくことになる。人権尊重の教育については、全教員対象の悉皆の人権研修をはじめ、様々取り組んでいる。体罰やいじめなどの案件は今のところ起きていない。理解啓発活動については、様々な機会を活用し発信している。学校見学会の情報を府政だよりや支援教育課HPにも載せてもらったり、早期相談の啓発のためのポスターを大阪北視覚支援学校と一緒に作成し配布したりするなどにも取り組んだ。

次回の会議日程

|    |                   |
|----|-------------------|
| 日時 | 令和4年2月下旬(予定)      |
| 場所 | 大阪府立大阪南視覚支援学校 会議室 |